

税務署長 殿
 平成 年 月 日
 住所
 氏名 _____ ㊞

金銭納付を困難とする理由書

平成 年 月 日相続（被相続人 _____）に係る相続税の納付については、下記の計算のとおり、延納によっても金銭で納付することが困難であることを申し立てます。

記

I 現金・預貯金及び収支状況等

- 1 相続した現金・預貯金等の残余（(1) - (2)） 千円
 (1) 相続による現金・預貯金等 千円 (相続税申告書第15表21の金額)
 (2) 支払費用 千円
 内訳 相続債務 (相続税申告書第15表32の金額)
 葬式費用 (" 33の金額)
 その他 _____ [支払内容 _____]
- 2 納税者固有の現金・預貯金等 千円
 (納期限時の現金。預貯金等を記載してください。)
- 3 納税者の年間の納税資金（(1) - (2)） 千円

(1) 経常的所得額計 千円		(2) 経常的支出額計 千円	
年 間 の 所 得	内訳	事業所得 _____	年 間 の 支 出
		給与所得 _____	
		利子・配当所得 _____	
		不動産所得 _____	
		その他（内容 _____） _____	

- 4 近い将来における金銭収入（(1) + (2) + (3) + (4)） 千円
 (1) 貸付金の回収 千円
 (2) 退職金の受給 千円
 (3) 不動産譲渡等による収入 千円
 (4) その他 千円 [収入見込時期が不明な場合は記載しなくても差し支えありません。]

(参考) 不動産譲渡等による収入見込み

【収入見込時期】	【譲渡物件】	【譲渡金額】
(1) 平成 . . .		_____
(2) " . . .		_____

- 5 近い将来における臨時的支出 千円
 [家計費、事業用資産の購入予定等、近い将来において臨時的に支出する金額がある場合、記載してください。]

II 現金納付額等の計算

- 1 相続税額 A 千円
 (相続税申告書第1表20の金額を記載してください。)
- 2 納期限（又は納付すべき日）までに納付することのできる金額
 (計算) [Iの1 + Iの2] B 千円
- 3 延納により納付することのできる金額
 (計算) [Iの3 × 最高延納期間(年) + Iの4 - Iの5] C 千円
- (注) 「Iの3 × 最高延納期間(年)」を計算する場合、所得の種類ごとに、継続的収入が見込まれる期間に限って計算して差し支えありません。
- 4 延納によっても金銭で納付することが困難な金額
 (計算) [A - B - C] 千円

【記載に当たっての留意事項等】

- 上記の計算方法により「延納によっても金銭で納付することが困難な金額」を計算できない場合などには、適宜の様式により、他の合理的な計算方法に基づき計算しても差し支えありません。
- 上記Iの3の経常的所得額を示した直近の所得税確定申告書又は源泉徴収票の写しを添付してください。
- この理由書の記載について不明の点がありましたら、税務署（管理・徴収部門）にお尋ねください。